

△2020年 クリスマスおめでとうございます。

全保護者と讃美礼拝をご一緒に出来ないことは誠に残念ですが、全園児とこの日をお迎えることに先ず感謝をささげたいと思います。

子ども達もマスクをつけての讃美、保護者の美しい歌声が響かない会場、昨年のクリスマスには予想もしていませんでした。しかし、先日「讃美歌を歌う会」(今年度は「讃美歌を口ずさむ会」になりましたが)のメンバーのお母さまから、「我が子は年中、親は参加できませんが、その日同じ時に、違う場所でちゃんと讃美していますから!」と言っていたときに、はっとさせられました。同じ場所に居なくてもクリスマスの喜び、感謝を子ども達を介して共有していただける保護者の方々の存在を心から嬉しく有難く素晴らしいと思いました。また、先週開催の聖書を読む会主催「クリスマスコンサート」は贅沢なくらいのクリスマスプレゼントでした。生演奏のすばらしさに改めて感動!でした。

年少さん、にじ組さんのおうちの方にとっては初めてのことが盛り沢山で、集まる機会も少なく幼稚園で迎えるクリスマスの意味を十分にお伝えできてきたのかと振り返っております。しかし、毎日の生活の中で年長児や年中児が準備していることを、見たり聞いたりする中で少しずつクリスマスの眞の意味を理解してくれている彼らを通して、今までとは違ったクリスマスを感じていただいているのではないのでしょうか。毎日讃美礼拝の讃美歌を口ずさみながら遊んでいるその可愛い姿に温かさを沢山受けています。

世界中が新型コロナウイルスの不安の中で今も過ごしています。医療従事者の献身的な働きと心身の疲労、生活や就職や進学などの不安、孤独・・・想像を超えた様々な影響が今後も続くと思われる中、クリスマスがどのような意味があるのかと思われる方もあるでしょう。しかし、悲しみや困難、苦しさや貧しさの中にある人々の近くにクリスマスはあるのです。なぜならば、イエス・キリストは私たちの心身の弱さや罪深さ、苦しさや痛みをすべて知り、そこからの救い主となるために神様が贈ってくださった方だからなのです。

アドベント第二の礼拝で、山田麻衣子牧師が語ってくださった言葉が日々響いてきます。「どんな状況の中にあっても、神様はあなたのことを忘れてりません。必ずあなたと一緒にいてくださいます。このことを忘れないでください。」感謝です!

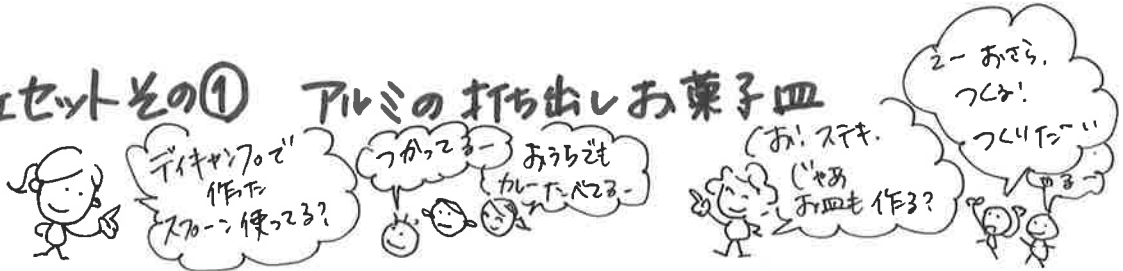
皆様にとって、心温かく幸いなクリスマスであることをお祈りいたします。

馬淵 宣子

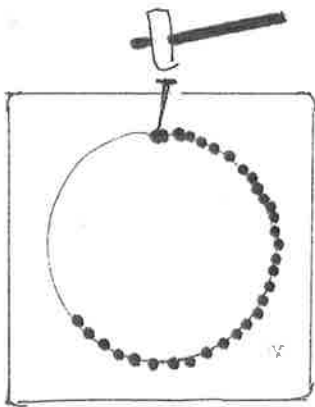
年長プレゼントへカフェセット

DAY キャンプでお盆やスプーンなどの食具を「自分で創る」ことを楽しんだ年長さん。もう一度アルミの打ち出しとウイピングで経験した「編む」ことに挑戦してほしい、とコースターとお皿の「カフェセット」をつくることにしました。

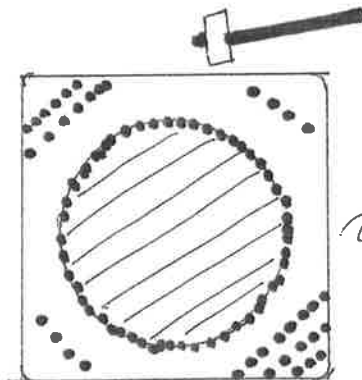
カフェセットその① アルミの打ち出しお菓子皿



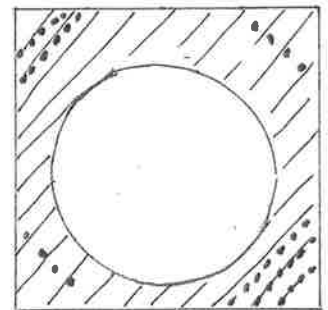
—というわけで 20cm角 厚さ5mmのアルミ板を打ち出すことに。作り方は... 新聞紙一束、タオル1枚を重ねた タオル新聞紙上で



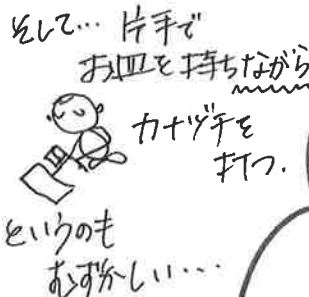
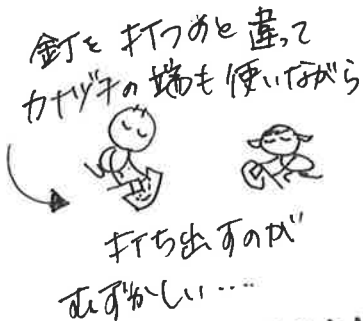
先を丸めた釘で
お皿のフチを打ち出す



隅りに好きなもようを
打つ。
お皿のハチマキの部分(斜線部分)
を打ち出す



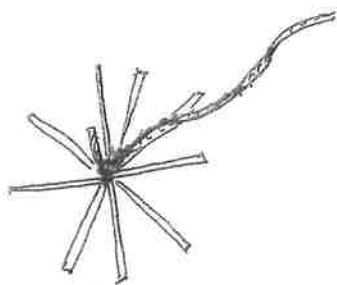
ひっくり返して外側を
打つ。これをくり返して
お皿の形にしていく。



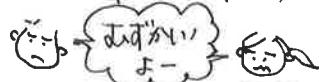
でも! ひりひり
個性あふれる
お皿ができました!!

カフェセットその② モールと麻ひものコースター

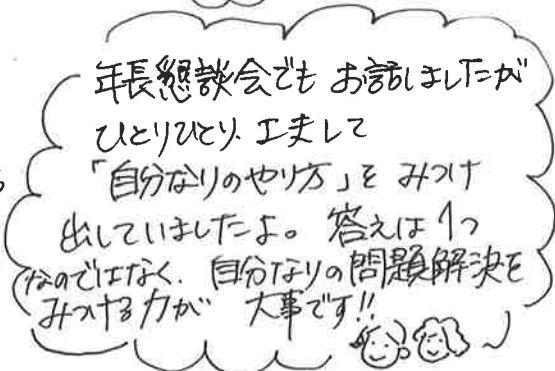
コースターは、モールと麻ひもを使い、「上、下、上、下...」と編んでいく
ウビングの応用編。ウビングの経験がいかせていました。



← 円型なので、どこからしたのか
どこまで編んだのか、わかりにくくて...



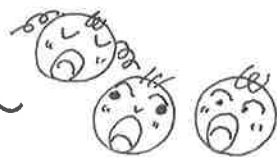
そこで... こどもたちは...



園では、こども達が「自分で創り出す」ことを大事にしています。

野球のボールがなかったら新聞紙で作る、アイドルになりたかったら衣装をカラービニール袋で作る...最近では人気アニメの主人公や登場人物になるのにやはりカラービニール袋や折り紙、トイレットペーパーの芯などを使ってグッズをつくり、なりきっています。それらのおもちゃやグッズは売ってもいるでしょう。が、売っているものはその状態が「完成」でそれ以上にはなりません。一方、自分で作ったものは愛着もわき、またどんどん工夫を重ね変化、進化させていくことができます。自分の手でどんどん変化できることにこども達は「もっと」という探求心や意欲を刺激されるのではないのでしょうか。また今の社会では身の回りのものができていく過程を見ることが極端に減ってしまいました。完成しているものを購入し、こわれでも修理することは少ないのではないのでしょうか。私達はこども達に自分で創り出す喜びとものができていく過程を知ってほしい、と願っています。その経験がたっぷりつまったプレゼント「カフェセット」で楽しく豊かなお茶の時間を過ごしてくださいね。

～♪♪ 年長さんがうたうよ ♪♪♪～



子ども達は今、クリスマスの喜びを讃美礼拝での姿やキャロリングでみんなに伝えようと頑張っています。何か目標を持ち、そこに向かう過程を友達と一緒に楽しんだり、難しい～けど頑張る、頑張って！と互いに励まし合えるその姿に一人ひとりの成長を感じ、嬉しいアドベントの時を過ごしてきました。そんな年長さんの姿は年中少さん、にじさんの目にどう映っているのでしょうか。来年、再来年…と未来の自分を描くスパイスになっていることを期待しています。

ところで、『キャロリング』で何？と思っている人はいませんか →→→ クリスマス・イブにキリストの生誕を讃美歌を歌って知らせることをキャロリングと言います。幼稚園では毎年、年長児によるキャロリングを続けてきました。子ども達の歌声を通して、神様からの愛を保護者の皆さんをはじめ近隣の方々などより多くの人たちに届けたいという思いでアニー・ランドルフ記念講堂や大森駅前で行ってきました。

今年も子ども達とキャロリングをしようと讃美歌を歌ってきました。子ども達にとって歌は身近なものであって欲しいと願っています。また声と声とが合わさり、一つの歌声になる心地よさにも気づいてもらえたらと、一緒に歌い楽しんできました。「覚えていないから～」 「はずかしい～」となかなか声が出せないでいた子ども達も今では「クラスで歌って聞かせたいから来て！」と伴奏と指揮をする私たち保育者を呼ぶほどです。

更に今年は♪ひいらぎ かざろう♪という讃美歌を英語で歌ってみようと“英語で遊ぼう”のフィンレイ先生から教えてもらい、頑張りました！この英語は日本語でいう古典の表現で、かなり難しいそうです。教えてもらった日に子ども達の歌う姿を見て「すごい！こんなに歌えるなんて」と驚かれていました。耳で聞いて覚えていく子ども達、繰り返し歌いながら、少しずつできるようになることを実感し歌うことがどんどん楽しくなっているようです。遊戯室前に貼った歌詞カードを前に♪Deck the ~♪と歌いながら踊っている子ども達の姿もあります。よーく聞くと???なところもありますが、子ども達の“歌いたい！楽しい!!”という気持ちが身体中から溢れています。



18日の終業礼拝後に園庭でキャロリングをします。賛美する子ども達の歌声を通して、神様の大きい愛がたくさんの人達の心に届きますように・・・

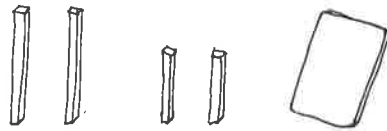
年中さんからのクリスマスプレゼントは…



おぼんとクリスマスカードです！！

木工製作はトントンコーナーで経験してきた子もいると思います。けれども、やすり掛けをせずに作っていたり、クギを使わずボンドのみで作ってきたりした子ども多いのではないのでしょうか。そこで今回は全員が経験出来るよう、木のおぼん作りに挑戦しました！

まず材料の準備から自分たちで行います。長い木を2本・短い木を2本・板を1枚選び、自分の銀盆に乗せます。



その後全ての木にしっかりとやすりを掛けます。「使った人が怪我をしないように」と根気よくかけました。集中力を使う作業です。



やすりがかかっているか
分からない子には、マーカーで
印をつけて、色が消えるまで
かけるよう説明しましたよ。

次に組み立て&ボンド付けをし、乾かします。ずれないように貼ることが難しいですが、よく理解して取り組むことが出来ました。

いよいよクギ打ち！やはり「はじめてやるー」という子が多かったです。初めての子にも丁寧に関わられるよう、少人数のコーナーで作っていきました。

クギをつまみながらどうやって打つの？という子に1本目は保育者が最初の打ち付けを見本で見せて、真似してやってもらいました。2本目からは自分の力で頑張って打ちました。3本、4本と打っていくうちにどんどん上手になっていく子ども達。飲み込みが早かったです！

おぼんの裏側には頑張ってクギ打ちした証が残っています。途中クギが曲がって打ち直した子、クギが打てず木を打っている子、クギがしっかり入り込むまで打ち込んだ子など。おぼんを見ながら是非作った感想など、家族で語り合ってみて下さいね。

ドキ
ドキ



ゆひ
うたないかな？

打つ途中でクギが
斜めになったら
…



反対から打てば
まっすぐに戻せる！

実践で学びました♪

いろいろな技法に挑戦しています！！

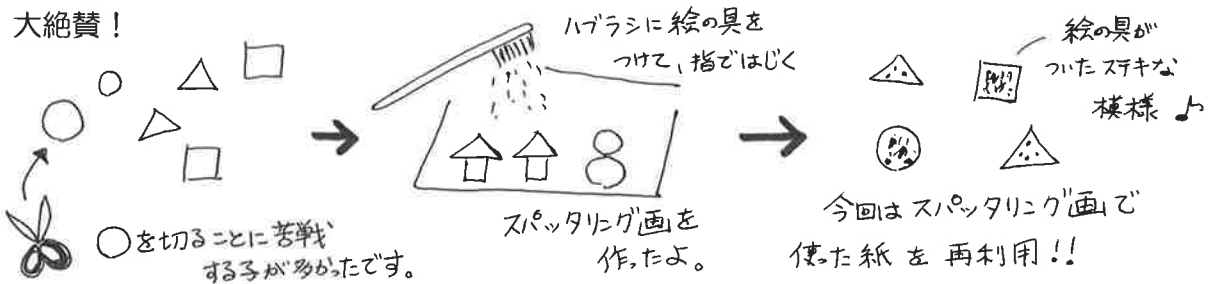
年中あつまりでは絵の具を使った様々な技法を紹介しています。最初に“ビー玉画”次に“デカルコマニー”そして“スパッタリング”です。

「こんな絵の描き方があるんだ～！！」と子ども達は感動していました！



今回のクリスマスカードはスパッタリング…をした時に使った○△□に切った画用紙を再利用しました。スパッタリングをした時、画用紙の上に○△□を使って好きな構成をしてもらいました。今回はクリスマスをテーマに構成を行いました。2回目ということもあり、様々なアイデアを考え出す子ども達に感動しました。「〇2つで雪だるまだね！」「重ねて貼ってもいいの？」「裏(絵の具が付いてない方)をつかってもいいの？」など考えて作っている姿が印象的でした。

とってもかわいいカードの仕上がりに、保育者も思わず「かわいすぎる！！」と大絶賛！



おうちの方に喜んでもらえるよう心を込めて作りました！けれども今年のプレゼントはこれだけではないんです…

年少さんの時のクリスマスプレゼントは、皆で遊ぶことが出来る『すごろく』を作りました。また一つ成長した年中さんには、出来るようになったことが増えたはず！

ということで出来上がったおぼんを使って、お手伝いすること！！も含め今年のプレゼントになっています。ぜひ、今年の冬休みはお手伝いの催促をいっぱいしてみてください！！！！



(まお)

年少さんからのプレゼントは・・・

輪投げ&クリスマスカードです☆

☆輪投げの土台作りに挑戦！！

あつまりの中で、トントンコーナーのレクチャーをした年少さん。レクチャー後、トントンコーナーへ喜んで遊びに行く姿がみられました。大好きな木工遊びを繰り返し経験してほしいと思い、プレゼントは「輪投げ」を作ることになりました。「輪投げで遊んだことある？」と聞いてみると、半数くらいの子が「知ってる！」と手を挙げてくれました。保育者が「こうやって遊ぶものだよ～」と紹介すると、「作りた～い♪」という嬉しい声が♡そして、「クリスマスプレゼントだから、おうちの人には内緒ね」と伝えると、『内緒』というフレーズに何だかニヤニヤと笑顔になっちゃう可愛い子どもたち。

まずは、ポンドを使って土台作り！たくさんの木片の中から、長い木片を1本と短い木片を2本、自分で選びました。

底板の上に木片をどうやって積み上げようかと考え、ポンドをどの部分につけようかと試行錯誤し、個性あふれるステキな輪投げ台をひとりひとり作り上げました。



☆ま～るい輪っか、できるかな？

土台の次は、輪っかづくりです。新聞紙を細長く巻いて棒のようにし、両手でぎゅっぎゅっぎゅっ。そして、端と端をくると合わせてセロテープで止め、輪にしました。セロテープを切っている間に、合わせていた部分の手が離れ1本の棒に戻ってしまったり、セロテープが短すぎて上手く止められず、1枚の新聞紙に戻ってしまったり。「あれれ～？」となりながらも、もう一度チャレンジ！それぞれ好きなカラーテープも貼り、お洒落な輪っかの出来上がり！大好きな人の為に最後まで自分の手で作りました♡



☆カードも作りました！

せっかくなので年少さんもクリスマスカードとして作ることができたら
なと思い、カードの説明の時○△□を使ってどんな絵が描けるのか、子ども達
とを考えてみました。「○と○でゆきだるま」「△と△でクリスマスツリーがで
きる！」「△と□でおうちになる」などなど年少さんからたくさん意見がでまし
た。絵を描くのは嫌だ！という子もおらず、みんな喜んで描いていました。
ハートをいっぱい描く子、○△□を使って描く子、お家の人や自分の顔を描く
子など様々でしたが、どのカードも丁寧に描かれてあり、明るく温かい心が
ほっこりするような絵でした。



☆輪投げで遊んでみたら・・・。

完成後自分で作った輪投げで遊んでみました。新聞紙で作った輪がお友だ
ちのものと混ざらないように少し離れて遊びましたが、時々輪が飛んで行っ
てしまい……。でも自分のものがどれであるかよく分かっていてびっく
り！！何色のテープをどの順番で貼ったのかちゃんと覚えているところが
すばらしい年少さん。しっかりしています。輪の投げ方も豪快に投げる子や
おもしろい投げ方をする子などなど色々でしたが、でもみんなとっても楽し
そうでした。たくさん遊びすぎて木片が外れてしまう子もいましたが（笑）

子ども達が心を込めて作った輪投げで遊んで、家族の輪をより一層強めても
らえたらと思います。もしかしたら遊んでいる間に木片が取れてしまったり、
新聞紙で作った輪が破れてしまうかもしれません。ぜひ子ども達と作り直し
たり、木片をもっとつけて長くして難しくしたり、新聞紙で輪をたくさん作
って速さを競ったり、色々遊びながら末永く楽しんでください。



(Rina & Aki)





＊ にじぐみさんのプレゼントは…



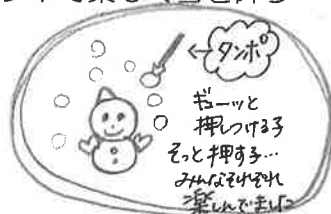
まだプレゼントの意味もよくわからない子もいるにじぐみさん。でもおうちのかたにお誕生日にお祝いをしてもらったり、おじいちゃんやおばあちゃんに好きなおもちゃを買ってもらったりしたことは、目を輝かせて喜びいっぱいにお話してくれます。おさんぽに出かけたときは捨ったどんぐりや葉っぱを「ママのおみやげにするー!」とよく話しています。人に何かをしてもらったり、してあげることは小さな子どもたちにとっても喜びであるようです。にじぐみのみんなに「パパやママにみんなからプレゼントをあげたら、きっとすごーくびっくりすると思うよ!」というお話から始まったひみつのプレゼント作り。何日もかけてひとつひとつの作業をじっくり取り組みました。そのプレゼントの全容は…!?

木の実のリース&ブーツ型クリスマスカード

毛糸を巻き付けた段ボール板を三角に組み立てて、おさんぽで捨ったどんぐりや松ぼっくりをボンド使って飾り付けました。真ん中には三角折でつくった星が揺れます♪



金と銀色の絵の具をつけたビー玉を転がして模様を付けた紙をブーツ型にはさみで切ったり、雪だるまの丸を切るのも挑戦してみました! 雪だるまには好きな色の帽子や手袋を貼り、可愛い顔も描きました。その表情の愛らしいこと♡仕上げにタンポで楽しく雪を降らせました。



とても可愛らしく味わい深いプレゼントが出来上がりました。ひとつひとつの経験が積み重ねとなり、子どもたちの自信と成長の証でもあると思います。おうちの方を思い、一生懸命作ったプレゼントを飾って素敵なクリスマスをお過ごしくださいね☆

(Akie & Chiaki)

保育参加ありがとうございました!!

☆ ★ ☆ ★ 年少あつまり ☆ ★ ☆ ★

年少あつまりでは、2学期に保育参加を行いました。今年はコロナウイルスの影響により、室内の活動に参加して頂くことはできませんでしたが、子ども達と一緒に毎回コースを変えながら、お散歩に出かけました。参加して下さった保護者の皆様、ありがとうございました。今回は、頂いたアンケートの内容を紹介します!

(*:アンケートより ☆:幼稚園から)

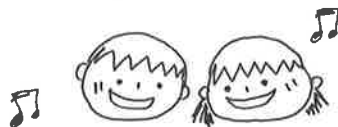
自分の子どもの姿を見て…



- * 普段の子ども達の様子が見れて良かったです。我が子も、お友達もどんな成長をしているのか、園ではどんな遊びをしているのか、また先生方との関わりを実際に見れて、改めてこの園に通わせてもらえてよかったと安心感でいっぱいです。
- * お友達同士の関わりや。ルールに対して意外と真面目?な部分を見ることができ、新たな発見でもありました。
- * 入園した頃と比べ、とても「お兄さん」になった息子の成長(家で見る姿とは違った)間近で感じる事が出来とても嬉しかったです。
- * 子どもながらに、友人関係を築き、クラスをとびこえて仲良くしている様子を見ることなどもできました。

☆子どもたちって幼稚園でどんな風に過ごしているのだろう…保護者の方たちにとっては未知の世界ですね。お友だちと関わっているのだろうか?と不安な想いもあったかと思います。今回の保育参加を通して、おうちの方たちが思っている以上に子ども達が楽しく、たくましく過ごしている姿を見ていただくことができ、嬉しく思います♪

周りの子どもの姿を見て…



- * 他の子どもたちと私自身も関わり、子どもたちの素直な可愛さに触れ、安心できる友達がいるからこそ娘が喜んで通えているのだな、と感じることもできました。
- * おしゃべりに夢中な子、もくもくと歩く子、ウロウロする子、いろんな姿を見ることができました。
- * 転んで泣いている子に、まっぼっくりやどんぐりのプレゼントをしてくれる心優しいこたちがいてすごいなーと感心しました。

☆なかなかお子さん以外の子どもたちと関わる機会がないと思いますが、子どもたち同士の関わりや言葉のやりとりを間近で感じていただくことができたのではないのでしょうか。年少さん同士、日々の遊びや学年のあつまりなどを通して、関係を深めてきています。クラスのお友だちだけではなく、クラスを越えての関わりも増え「また明日遊ぼうね！」と約束をしている姿もあり、年少さんの成長を感じます。これからの年少さんたちが楽しみですね！

散歩に参加してみても…



- *「散歩」というワードからは想像のつかなかったどんぐり探しや、薬草園散策は、金城ならではの感じ、子どもの“年少さんらしさ”を感じられたひとときでした。
- *素敵なお散歩コースで子ども達も楽しそうでもとても幸せな気持ちになりました。
- *足場の悪い(いい意味で)ペンギン山でもみんなたくましく遊んでいて、このような恵まれた環境で育てていただいていることに感謝です。
- *大自然の中でのびのびと遊べる環境、やりたい事が存分にできる環境、大好きな先生やお友達の中で張り切る娘の姿を見て、金城幼稚園に入園してよかったなあと思っています。
- *あっという間に帰る時間で大人の私もまだまだいたい位でした…。娘が遊んでいると(楽しくて)幼稚園すぐ終わっちゃうと言っているのが納得しました。

☆豊かな自然の中で日々過ごせていることに本当に感謝です。お散歩に行くと改めてその事を実感します。子どもたちが目を輝かせてどんぐりを拾ったり、ペンギン山で走り回っている姿を、おうちの方たちと一緒に感じ、楽しむことができ良かったです。これからも、この恵まれた環境に感謝をしながら、自然と共にたのしい経験をたくさんしていきたいと思っています。(あゆみ)



アンケートにご協力いただきありがとうございました☆

